

ふれあし、だより

行橋市立稗田小学校 H.22. 9. 27

9月17日（金）に総合的な学習「お年寄りと交流しよう」で、5年生が81歳以上のお年寄り宅を一軒一軒訪問しました。

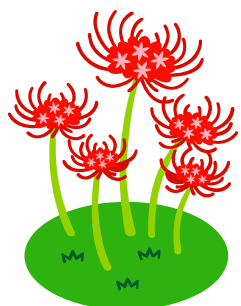
活動のめあて

敬老の日をひかえ、お年寄りとふれあう機会をもつ。

- ◇ お年寄りから学び、共に生きていくためにはどうあればよいかを考えたり、自分たちにできることを行動に移したりする。
- ◇ 自分たちの住む地域のお年寄りと交流することにより、自分からもあいさつしたり、親しくしたりするきっかけにする。



事前訪問したお年寄りのお宅までの道を思い出しながらグループで訪問をしました。子どもたちは、習ったばかりの縫い物で、手作りのプレゼント（ポケットティッシュケース）を用意し、お年寄りに喜んでいただこうとワクワクしながら訪問しました。



お年寄り訪問は、学校の中では学ぶことができない地域のお年寄りの方との心のふれあいがもてる貴重な体験の場です。子ども達を温かく迎えて下さったお年寄りの方々に心から感謝したいと思います。



プレゼントのポケットティッシュケースを作りました。失敗しそうになりながら少しずつ、つくりました。お年寄りの方が喜んでくれる笑顔が見たいから、がんばりました。出来栄えを見たとき、これまでやってきたかいがあったな～と思いました。私は、はやくプレゼントを渡したい気持ちでいっぱいになりました。

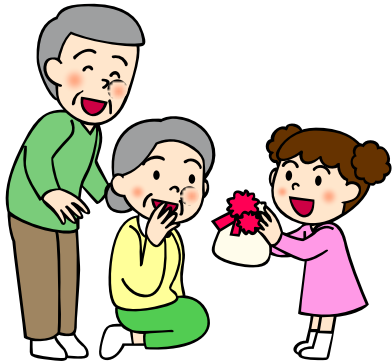
そして、本番になりました。事前訪問の時のような不安は全くありませんでした。プレゼントを持っていくと、足が悪くても一生けん命に私のところまで受け取りに来てくれました。そして、泣いて喜んでくれたお年寄りもいました。私は、お年寄りの方と、こんなにたくさん、ふれあえて本当にうれしくなりました。

ぼくは、お年寄り訪問で1番うれしかったことは、おじいちゃん、おばあちゃんが笑顔で待っていてくれたことです。そして、しゃみせんを見せてくれました。お年寄りとおふれあえてよかったです。また、ふれあえたらいいなと思いました。心をこめて作ったティッシュケースは、大変だったけれどおじいちゃんたちが、「ありがとう。」と言ってくれたので心があたたかい気持ちになりました。

ぼくたちが作ったプレゼント
(ポケットティッシュケース)です。
使ってください!!



ティッシュケースを作るのはむずかしかったけれど、おばあちゃんやおじいちゃんが「ありがとう。」と言ってくれのが、うれしい言葉でした。



最初の家に着いた時は、本当にここかなと思いました。けれど、訪問してみると、お年寄りの方はとても親切でいろいろ気づかってくれたので、とてもうれしかったです。プレゼントのことをいった瞬間、うれしそうな顔をしたので、ぼくもうれしかったです。

ぼくたちを待っていてくれたので、とてもうれしかったです。笑顔で、お年寄りの方が喜んでくれたので、よかったです。みんながとても元気だったので本当によかったと思います。

稗田っ子を
いつまでも見守ってください！



おじいちゃんは足が悪いのに、私たちが来たら、急いで来てくれて「楽しみにしていたよ。」と言ってくれたのでとてもうれしかったです。プレゼントを渡したら、その場ですぐに使ってくれたのでとてもうれしかったです。休み時間に遊ばないで作ったのでよかったですと思いました。登下校中にあったら笑顔であいさつや話をしたいなと思います。



おじいちゃん、おばあちゃん達が喜んでくれて「大事に使うね。」と言われたのでうれしかったです。たくさん「ありがとう、ありがとう。」と言ってくれました。ずっと長生きしてほしいです。るすの人もいたけれど、気持ちは伝わったと思いました。



ティッシュケースを持って行った時に、「がんばってね」とか「ありがとう」と言ってくれたので、とっても、うれしかったです。これから、おじいちゃん、おばあちゃんに会ったら声をかけたいです。

おじいちゃん、おばあちゃんが、外で草刈りをして私達を待っていてくれたみたいで、とてもうれしかったです。それと、耳が不自由なおばあちゃんがいる、4時ぐらいにしかいないと言っていたけれど、ちゃんとプレゼントが手渡せてよかったです。そして、大きな声で話せました。みんな、喜んでくださったのでとてもうれしかったです。

いつまでも、お元気で！
長生きしてくださいね。

ある家のあばあちゃんは「100才まで生きる」と元気に言っていました。プレゼントを渡した後に「大事に使います」といって喜んでくれたのでうれしかったです。

いつまでも、長生きしてほしいです。

